



# Techno Smart

Changing Life with Coating Technology

**テクノスマート (6246)**

**2025年3月期  
第2四半期決算説明資料**



<https://www.technosmart.co.jp/>

# 2025年3月期第2四半期決算概要

前年同期比で減収減益となったものの、当初見込みより売上計上時期が前倒しとなった案件があり売上が増額、さらに利益率の向上で利益額は大きく増額となった

	24年3月期 2Q 実績	25年3月期 2Q 実績	対前年同期 増減率	25年3月期 通期計画	対計画 進捗率
(百万円)					
受注高	7,017	5,821	△17.0%		
売上高	9,641	7,533	△21.9%	21,700	34.7%
営業利益	1,599	1,462	△8.6%	3,100	47.2%
営業利益率	16.6%	19.4%			
経常利益	1,619	1,489	△8.0%	3,100	48.0%
純利益	1,097	992	△9.5%	2,100	47.3%
受注残高	24,178	30,137	+24.6%		

## 2025年3月期 第2四半期 概況

- ✓ リチウムイオン電池関連等エネルギー関連機器は、需要の鈍化はあるものの一時的な調整局面と認識しており、**中長期的な成長**を見込む
- ✓ 設備投資の受注高は大きな伸びはなかったが、受注残高は高水準を維持
- ✓ 第1四半期から継続し、売上高は前年同期比で減少も、利益率が向上し利益の減少額は限定的に
- ✓ 仕入部材の長納期化はかなり解消されたものの、新規受注においては大量の受注残に起因する人員、生産容量の懸念から顧客要望納期に応えきれておらず、改善を進める

\*2024年10月25日発表の修正予想に対する進捗率



1

会社概要

2

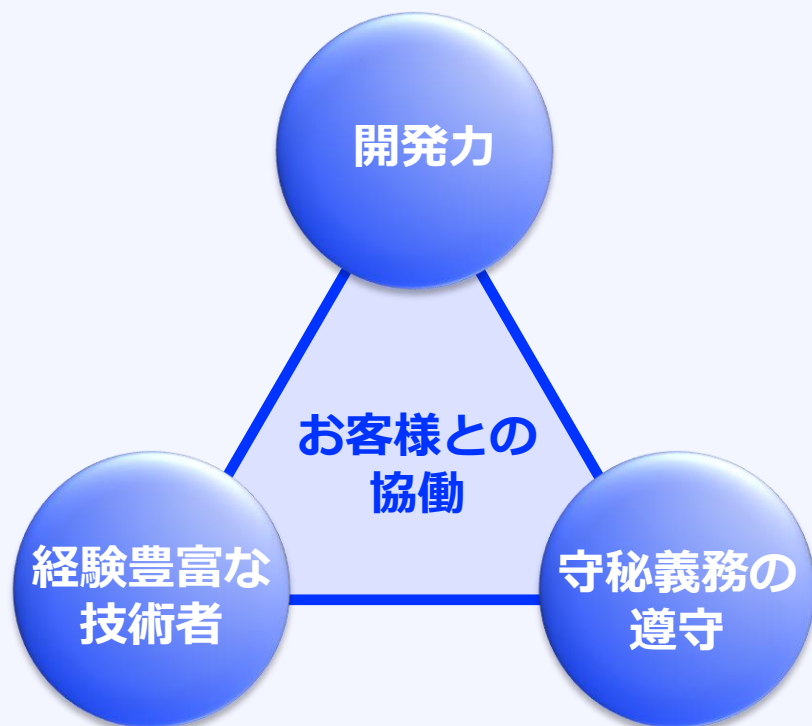
2025年3月期第2四半期実績

3

Appendix

常にお客様を第一とし  
ベストソリューションを提供し続ける  
コーティング・乾燥技術のプロ集団

「こんな商品を！」の声に応える新商品開発サポート



豊富な経験と先端の知識を備え  
お客様のコミュニケーションを  
基点に動く技術者集団

万全なお客様機密情報の保護

会社名	株式会社テクノスマート (Techno Smart Corp.)
事業内容	製造業向け塗工・乾燥装置の製造・販売
創業	1912年6月15日
資本金	19億5,393万円
所在地	〒541-0056 大阪府大阪市中央区久太郎町2丁目5-28 久太郎町恒和ビル2階
従業員数	242名 (2024年9月末時点)
生産拠点	【滋賀事業所】 滋賀県野洲市大篠原3200番地

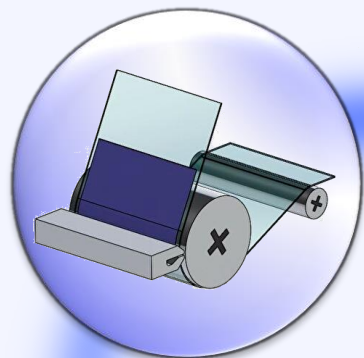
▼滋賀事業所



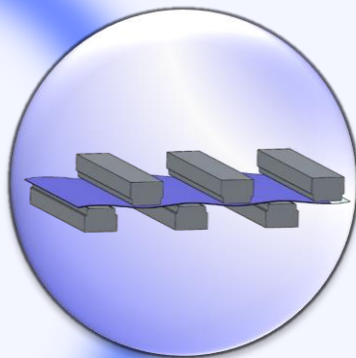


モノ作りにおける「塗る」「乾かす」「巻き出す・巻き取る」に対するベストソリューションの提供

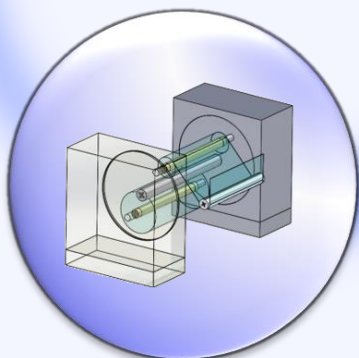
塗工プロセスに必要な要素全てを自社製品でカバー



塗る



乾かす



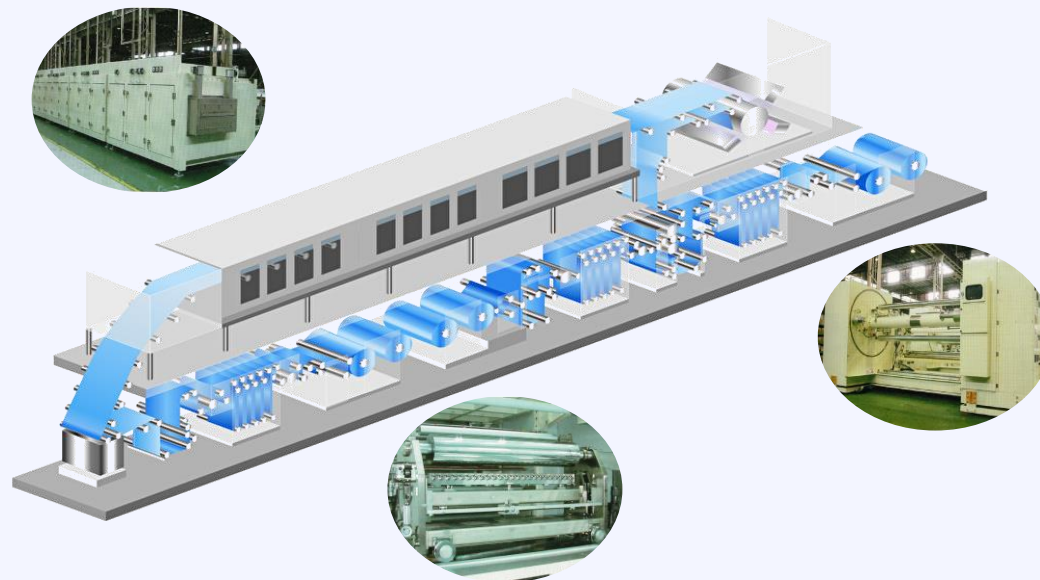
巻き出す・巻き取る

顧客のニーズに合わせた最適な生産ラインを提案・構築

使用する材料

ラインの  
生産性

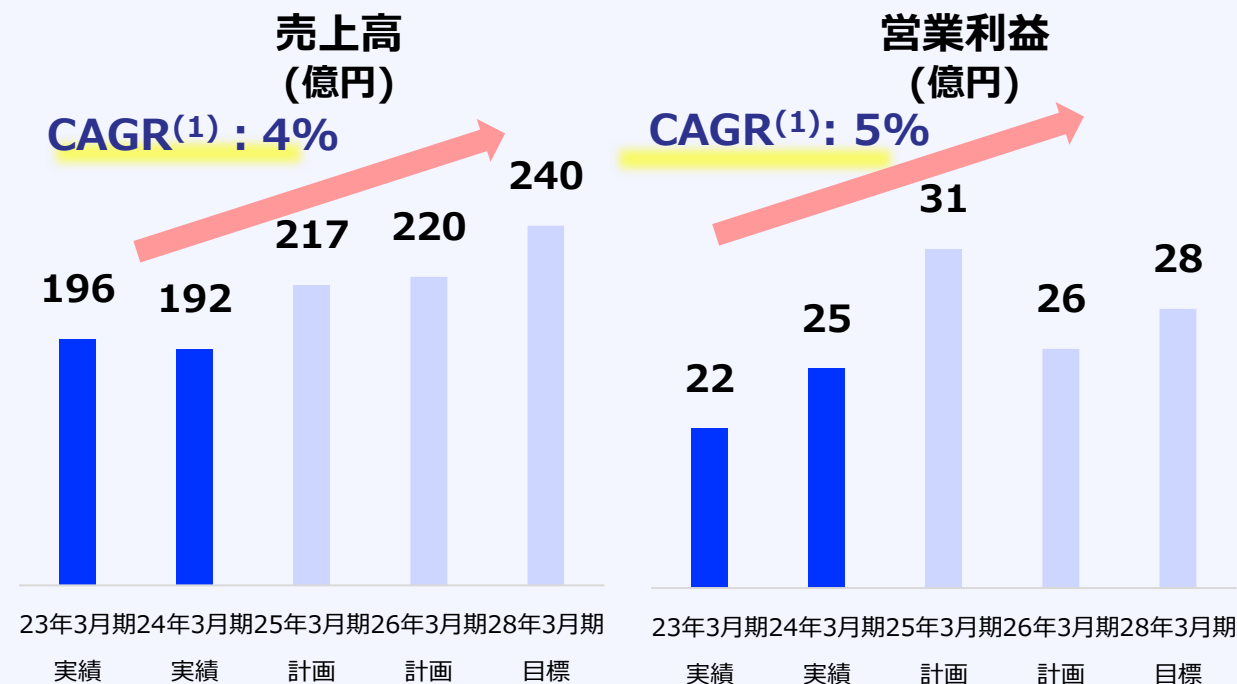
コーティング  
の精度



塗工プロセスで要求される様々な要素を  
最大限に満たす生産ラインを設計・構築

事業基盤の強化に取り組むと同時に、長期的な成長に向け二次電池市場に向けた展開を強化  
また、企業価値創出の重要指標としてROEを含めた目標数値を設定し、財務戦略の見直しを図る

目標	主要施策
① 車載用二次電池市場向けを中心に、エネルギー領域での成長を加速	✓ Dürr社(独)との提携を通じた欧州展開強化
② 納期の長期化の解消と技術力強化を通じた競争力の向上	✓ 設計者の採用強化 ✓ 生産・研究開発投資の拡大
③ コロナ禍で停滞した海外戦略の強化	✓ 海外訪問強化 ✓ 営業人材の採用強化 ✓ アフターサービス拡充
④ 資本効率の向上	✓ 財務戦略の見直しによるROEの改善



**ROE目標**

23年3月期実績 **8.9%**

28年3月期以降 **10%以上**

(1) Compound Annual Growth Rate (年平均成長率)。23年3月期実績および28年3月期目標に基づく

1

会社概要

2

2025年3月期第2四半期実績

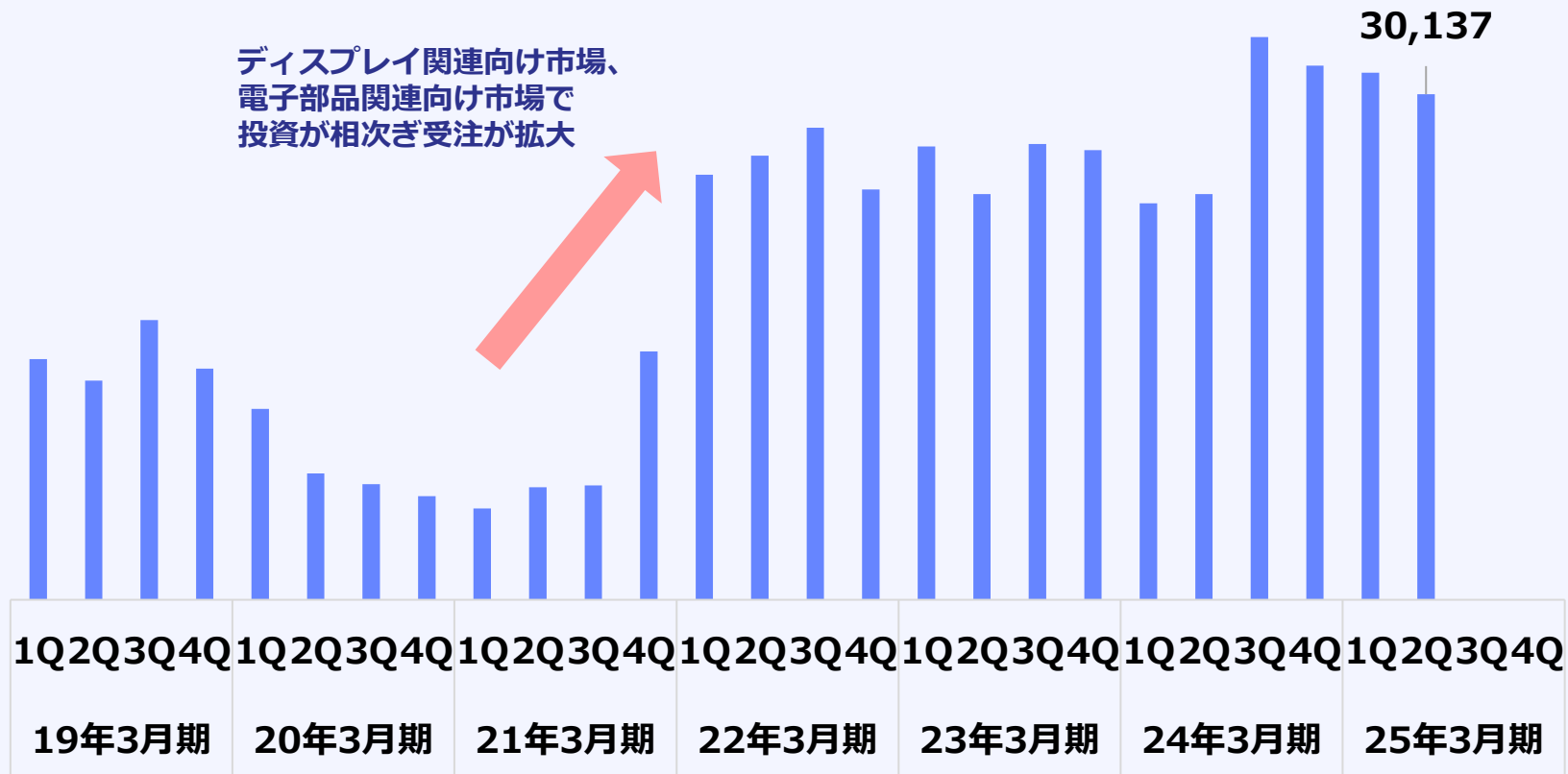
3

Appendix

依然高水準の受注残高が続く

部材の長納期化は改善傾向にあり、業績目標達成に向けて製造の前倒しを積極的に推し進める

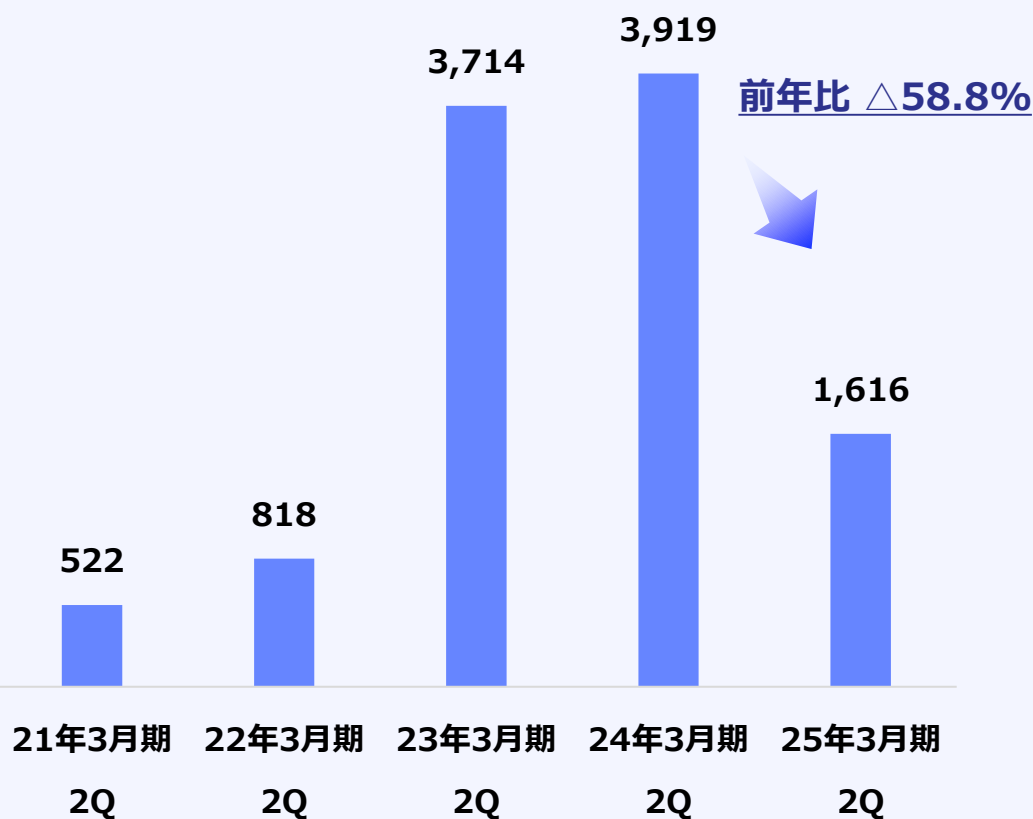
受注残高  
(百万円)





2Qでの売上貢献は前年同期比で△58.8%と大幅減  
前期獲得の超大型案件は、今期後半から売上寄与が始まる見込み

ディスプレイ部品関連機器売上高  
(百万円)

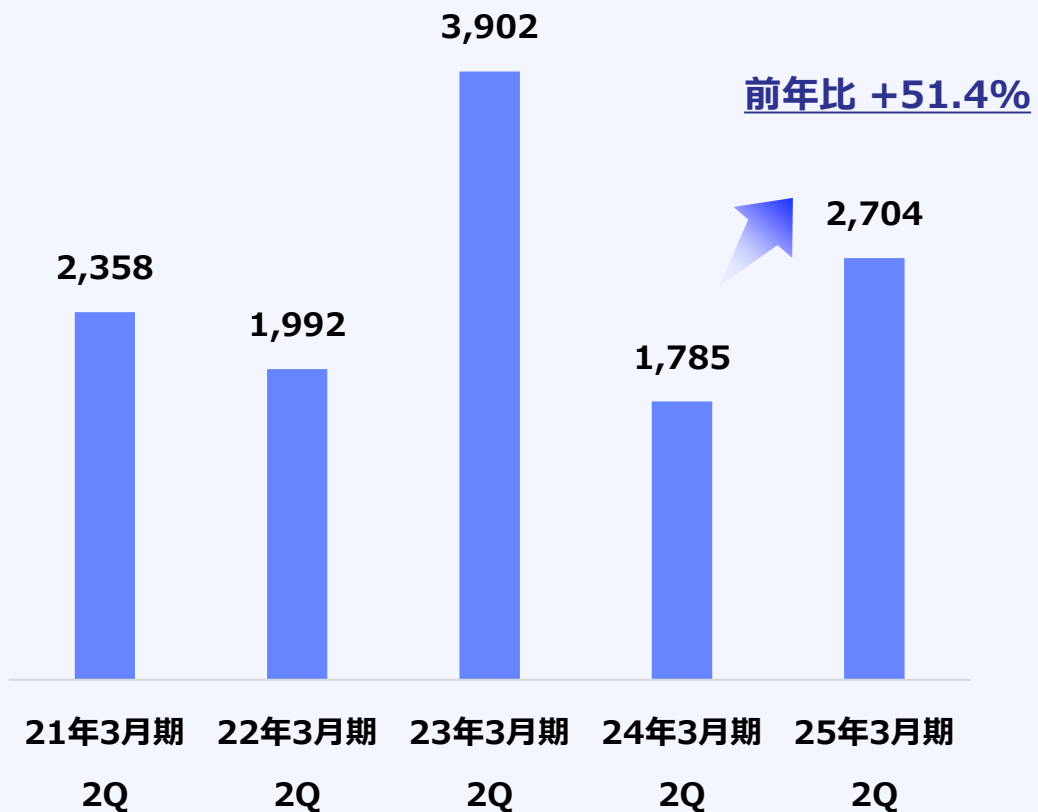


## 2025年3月期 見通し

- ✓ 前期に獲得した超大型案件の売上は、2026年3月期に大きく進捗となる見通しであったが、生産を前倒しして今期後半からの貢献を見込む

機能性フィルム部品関連機器の売上は前期比で51.4%増  
底堅い需要があるものと認識しており、今後も緩やかな伸びが期待される

機能性フィルム部品関連機器売上高  
(百万円)



## 2025年3月期 見通し

- ✓ 売上の進捗が進み、最終製品別では機能性フィルムが最も売上高が大きく、第2四半期時点では全体の35.9%を占めている
- ✓ 第2四半期では、MLCCの製造工程で使用するフィルムの装置等、受注を獲得

エネルギー関連機器の売上は前年同期比で28.6%増

EV用は一時的に鈍化しているものの案件自体は存在しており、新たな受注獲得を目指す

エネルギー関連機器売上高  
(百万円)



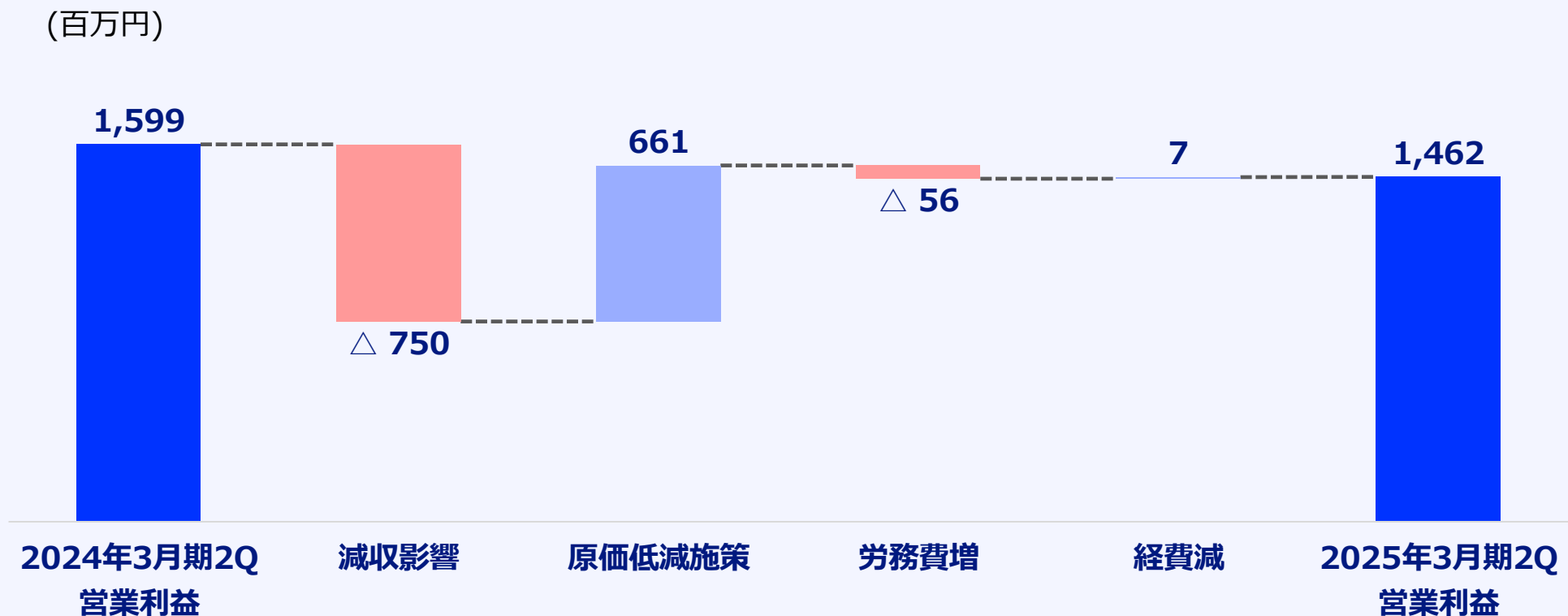
## 2025年3月期 見通し

- ✓ 車載用二次電池は、国や地域によって異なるものの依然として大きな市場
- ✓ **全固体電池に関する初期的投資**獲得に向け、注力
- ✓ Dürr社と連携し、欧米市場での車載用二次電池の電極用塗工乾燥装置受注獲得に向け営業活動を継続する



# 2025年3月期第2四半期実績 営業利益の増減

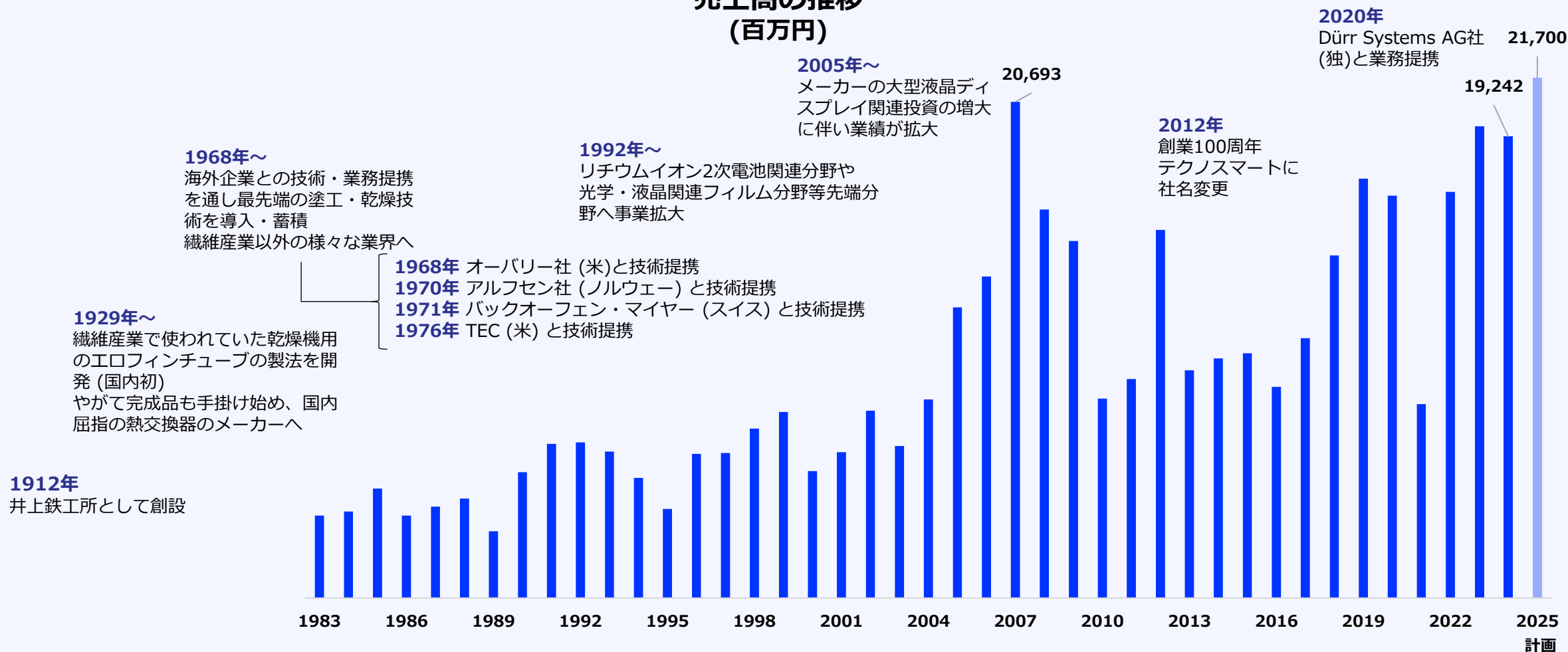
減収等の影響はあったものの、原価低減施策が奏功し14.62億円の営業利益を実現



## **Appendix**

1912年に創業。繊維産業向け乾燥機のエロフィンチューブの開発以来、様々な業界の塗工・乾燥のプロセスに関するソリューションを手掛ける

## 売上高の推移 (百万円)





現在はディスプレイ、機能性フィルム関連、電子部品関連、エネルギー関連で9割超を占める

## ① ディスプレイ部品関連機器

液晶用表示装置に代表される光学用途フィルム  
塗工装置及び関連する乾燥・熱処理装置



**顧客製品：**  
偏光フィルム、ARフィルム 等

**関連製品・最終製品：**  
液晶テレビ、スマートフォン 等

## ② 機能性フィルム関連塗工機器

一般産業資材用のフィルム用塗工装置及び  
関連する乾燥・熱処理装置

**顧客製品：**  
離形フィルム等

**関連製品・最終製品：**  
MLCC、電子機器 等



## ③ 電子部品関連塗工機器

半導体、FPC等電子部品関連用塗工装置  
及び関連する乾燥・熱処理装置



**顧客製品：**  
FPC 等

**関連製品・最終製品：**  
スマートフォン 等

## ④ エネルギー関連機器

二次電池用塗工装置及び関連する乾燥・熱処理装置  
また、塗工機以外の二次電池用製造装置及び関連機器

**顧客製品：**  
LiB、太陽電池 等

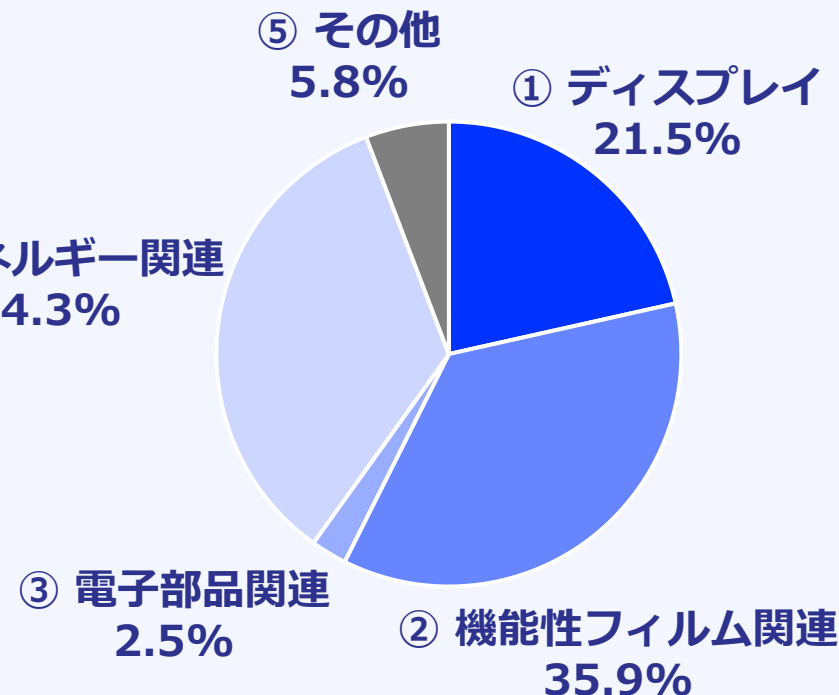
**関連製品・最終製品：**  
スマートフォン、EV 等



## ⑤ その他

各種関連機器の部品製造・改造・修理

製品セグメント別売上高構成比  
(2025年3月期2Qベース)



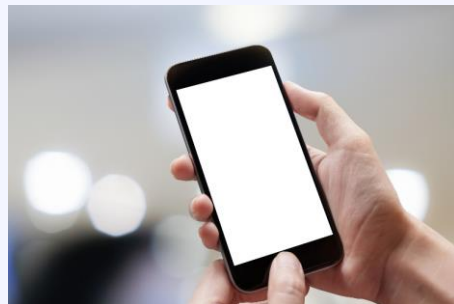
# テクノスマートの機械で作られる最終製品

Techno Smart

生活に欠かせない様々なものの製造で塗工プロセスが必要とされている



液晶テレビ



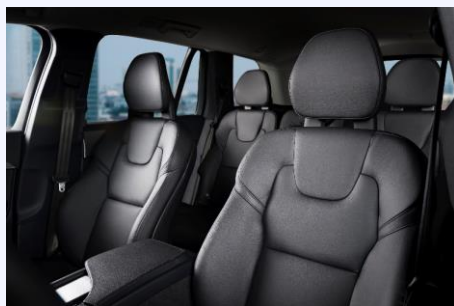
スマートフォン



太陽電池



不織布 (おむつ)



レザーシート



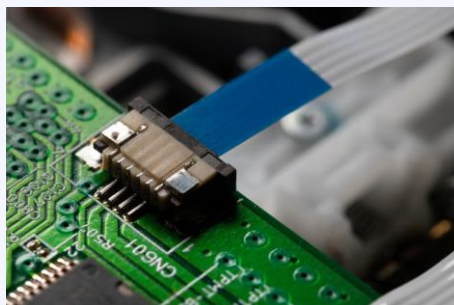
エアバッグ



車載用リチウムイオン電池



粘着テープ



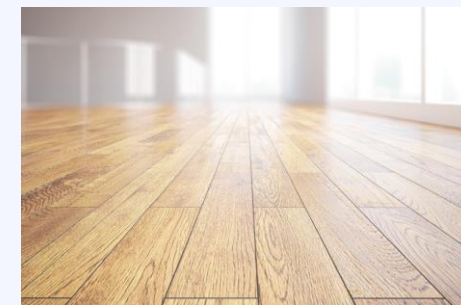
フレキシブルプリント基板



医療用経皮吸収パッチ



修正テープ



フローリング風床材

顧客第一の姿勢のもと、お客様の求める要素を全て実現し、技術に支えられた高品質なソリューションと永続的なアフターフォローを通して高い顧客満足を実現

## ヒアリング・営業



お客様とのコミュニケーションを通じて課題を発見。新商品開発や提案に繋げる

## 企画・設計



引き合いをいただいたお客様との打合せに基づいて下調べを行い、図面・仕様書を作成

## 製造・据付



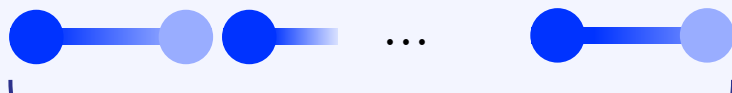
お客様の工場で実際に製造ラインを据付し、試運転を重ねて求められている水準を実現

## アフターフォロー



納品後も永続的なアフターフォローに取り組み、更なる顧客満足度の充実に努める

## 一般的なリードタイム



1～3か月/回程度の  
見積もりを繰り返し  
お客様の求める設計に

1年～1年半

永続的なフォロー



# 損益計算書（通期/中間期）

(百万円)	16年3月期	17年3月期	18年3月期	19年3月期	20年3月期	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期 2Q
受注高	7,961	16,067	18,553	18,666	9,179	16,771	26,603	22,017	24,288	5,821
受注残高	3,113	8,343	12,611	13,785	6,180	14,799	24,463	26,803	31,849	30,137
売上高	8,807	10,837	14,285	17,492	16,785	8,089	16,939	19,677	19,242	7,533
売上原価	7,879	9,116	12,215	14,271	12,632	6,663	14,472	16,502	15,603	5,499
売上総利益	927	1,721	2,070	3,220	4,153	1,425	2,466	3,174	3,638	2,033
売上総利益率	10.5%	15.9%	14.5%	18.4%	24.7%	17.6%	14.6%	16.1%	18.9%	27.0%
販売費及び一般管理費	615	713	807	872	1,049	585	823	941	1,050	571
営業利益	311	1,008	1,262	2,347	3,103	840	1,642	2,232	2,588	1,462
営業利益率	3.5%	9.3%	8.8%	13.4%	18.5%	10.4%	9.7%	11.3%	13.5%	19.4%
営業外収益	44	45	44	45	46	80	60	56	58	40
営業外費用	12	21	25	12	7	6	11	11	16	13
経常利益	343	1,032	1,281	2,380	3,142	914	1,692	2,277	2,630	1,489
特別利益	9	0	-	-	-	26	0	0	0	0
特別損失	7	5	10	15	165	20	7	2	0	0
税引前当期（中間期） 純利益	345	1,027	1,271	2,364	2,976	919	1,685	2,275	2,629	1,489
法人税等	135	335	380	738	942	340	521	668	825	496
当期（中間期）純利益	209	692	890	1,626	2,033	579	1,164	1,607	1,804	992



# 損益計算書 (四半期)

(百万円)	23年3月期				24年3月期				25年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
受注高	7,949	2,490	8,383	3,195	1,084	5,932	15,046	2,226	2,675	3,146
受注残高	27,031	24,187	27,176	26,803	23,630	24,178	33,553	31,849	31,432	30,137
売上高	5,382	5,334	5,395	3,566	4,257	5,384	5,671	3,930	3,092	4,441
売上原価	4,640	4,401	4,246	3,215	3,579	3,996	4,536	3,492	2,359	3,140
売上総利益	741	935	1,148	350	678	1,387	1,136	437	733	1,300
売上総利益率	13.8%	17.5%	21.3%	9.8%	15.9%	25.8%	20.0%	11.1%	23.7%	29.3%
販売費及び一般管理費	200	214	193	334	233	232	234	351	327	244
営業利益	541	721	955	15	444	1,154	901	89	405	1,057
営業利益率	10.1%	13.5%	17.7%	0.4%	10.4%	21.4%	15.9%	2.2%	13.1%	23.8%
経常利益	566	719	973	19	461	1,158	922	89	433	1,056
税引前四半期純利益	566	719	973	17	461	1,158	923	87	433	1,056
四半期純利益	385	492	666	64	312	785	630	77	291	701

# セグメント別 受注高・受注残高・売上高 (四半期) **Techno Smart**

(百万円)	23年3月期				24年3月期				25年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
<b>受注高</b>	<b>7,949</b>	<b>2,491</b>	<b>8,383</b>	<b>3,194</b>	<b>1,084</b>	<b>5,933</b>	<b>15,045</b>	<b>2,226</b>	<b>2,675</b>	<b>3,146</b>
ディスプレイ関連	4,058	104	1,755	657	136	2,125	12,212	188	646	1,177
機能性フィルム関連	774	1,742	3,055	1,816	449	204	340	842	1,121	1,584
エネルギー関連	1,616	361	3,366	348	52	2,638	2,326	947	615	86
その他	1,501	284	207	373	447	966	167	249	293	299
<b>受注残高</b>	<b>27,031</b>	<b>24,187</b>	<b>27,176</b>	<b>26,803</b>	<b>23,630</b>	<b>24,178</b>	<b>33,553</b>	<b>31,849</b>	<b>31,432</b>	<b>30,137</b>
ディスプレイ関連	10,430	8,367	7,346	7,029	5,732	5,371	15,740	15,342	15,302	15,549
機能性フィルム関連	5,928	6,129	8,586	9,645	9,002	8,513	7,495	7,092	7,158	7,094
エネルギー関連	6,336	5,443	7,584	7,126	6,250	7,804	8,449	7,883	7,479	5,997
その他	4,337	4,248	3,660	3,003	2,646	2,490	1,869	1,532	1,493	1,497
<b>売上高</b>	<b>5,382</b>	<b>5,334</b>	<b>5,395</b>	<b>3,566</b>	<b>4,257</b>	<b>5,384</b>	<b>5,671</b>	<b>3,930</b>	<b>3,092</b>	<b>4,441</b>
ディスプレイ関連	1,548	2,166	2,776	974	1,433	2,485	1,843	587	686	930
機能性フィルム関連	2,362	1,540	598	757	1,093	692	1,358	1,245	1,056	1,648
エネルギー関連	1,253	1,253	1,225	805	928	1,084	1,682	1,512	1,019	1,568
その他	219	375	796	1,030	803	1,121	787	589	331	295



# 貸借対照表 (通期/中間期)

(百万円)	16年3月期	17年3月期	18年3月期	19年3月期	20年3月期	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期 2Q
総資産	15,830	18,364	19,391	24,435	22,926	22,138	29,316	27,909	29,948	27,608
流動資産	11,707	13,933	14,840	19,863	17,711	16,608	23,204	21,621	23,039	20,348
現金及び預金	5,305	5,606	5,493	6,076	6,188	10,461	10,638	9,583	9,711	7,072
売上債権	5,954	7,862	9,081	13,119	10,952	5,595	11,078	11,381	12,256	11,954
棚卸資産	268	265	234	252	282	185	552	535	842	1,305
固定資産	4,123	4,430	4,551	4,572	5,214	5,529	6,111	6,287	6,909	7,259
有形固定資産	2,940	3,072	2,977	3,044	3,673	3,925	4,508	4,447	4,592	5,133
総負債	5,666	7,440	6,558	9,461	6,497	5,391	11,910	9,331	10,240	9,037
流動負債	4,214	5,971	5,205	8,178	5,225	4,090	10,563	7,923	8,762	7,536
仕入債務	3,188	4,218	3,526	6,184	3,113	2,325	8,060	5,008	4,357	3,530
前受金	44	639	676	758	744	1,398	1,597	1,729	3,005	2,677
固定負債	1,451	1,468	1,352	1,283	1,272	1,300	1,347	1,407	1,477	1,501
純資産	10,164	10,923	12,832	14,974	16,428	16,747	17,405	18,577	19,707	18,571
株主資本	8,877	9,432	11,230	13,502	15,003	15,151	15,879	16,945	17,647	16,698
評価・換算差額等	1,287	1,491	1,594	1,471	1,424	1,596	1,525	1,631	2,060	1,873
有利子負債	1,016	841	547	194	82	2	-	-	-	-
自己資本比率	64.2%	59.5%	66.1%	61.3%	71.7%	75.6%	59.4%	66.6%	65.8%	67.3%
1株あたり純資産	959.3円	1,030.9円	1,118.5円	1,208.0円	1,325.3円	1,351.1円	1,415.6円	1,510.9円	1,599.9円	1,619.4円

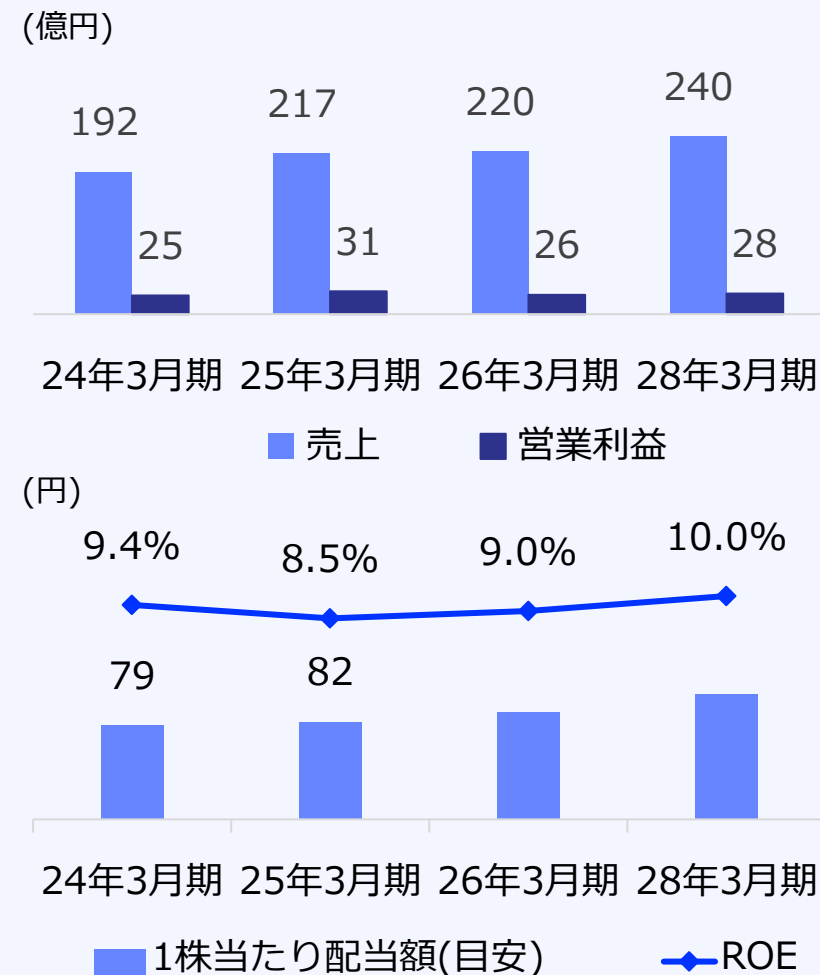
# キャッシュ・フロー計算書

(百万円)	21年3月期 2Q	22年3月期 2Q	23年3月期 2Q	24年3月期 2Q	25年3月期 2Q
営業活動による キャッシュ・フロー	4,643	△13	3,355	2,404	△194
投資活動による キャッシュ・フロー	△14	△392	△25	△181	△407
財務活動による キャッシュ・フロー	△445	△176	△305	△673	△1,939
現金及び現金同等物 の増減額	4,183	△582	3,024	1,548	△2,539
現金及び現金同等物 の期首残高	6,088	10,361	10,538	9,483	9,611
現金及び現金同等物 の中間期末残高	10,272	9,778	13,563	11,031	7,072
(ご参考) フリー・キャッシュ・フロー	4,629	△405	3,330	2,222	△601

フリー・キャッシュ・フロー・・・営業活動によるキャッシュ・フロー + 投資活動によるキャッシュ・フロー

今中期経営計画における各数値目標は以下の通り

	24年3月期 実績	25年3月期 計画	26年3月期 計画	28年3月期 目標
売上高	192億円	217億円	220億円	240億円
営業利益	25億円	31億円	26億円	28億円
ROE	9.4%	8.5%以上	9%以上	10%以上
DOE	5.1%	5%以上		
配当額 (目安)	79円	82円	75円から105円程度	

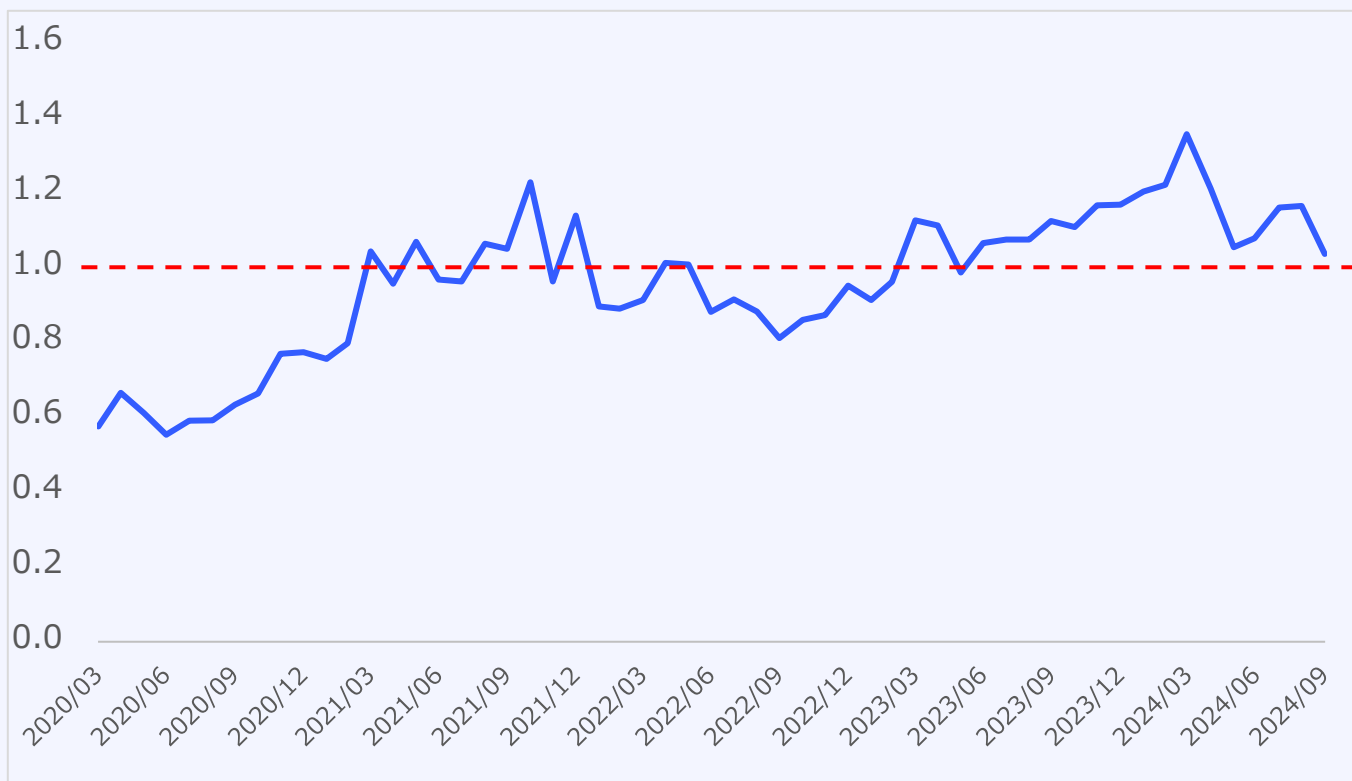




## 第3次中期経営計画発表後、PBRは1倍を上回る推移

一定の評価と期待をいただいているものと捉え、引き続き企業価値の向上及び最大化に取り組む

2020年3月来PBR推移（倍）



当社の株主資本コスト(参考値)の前提について

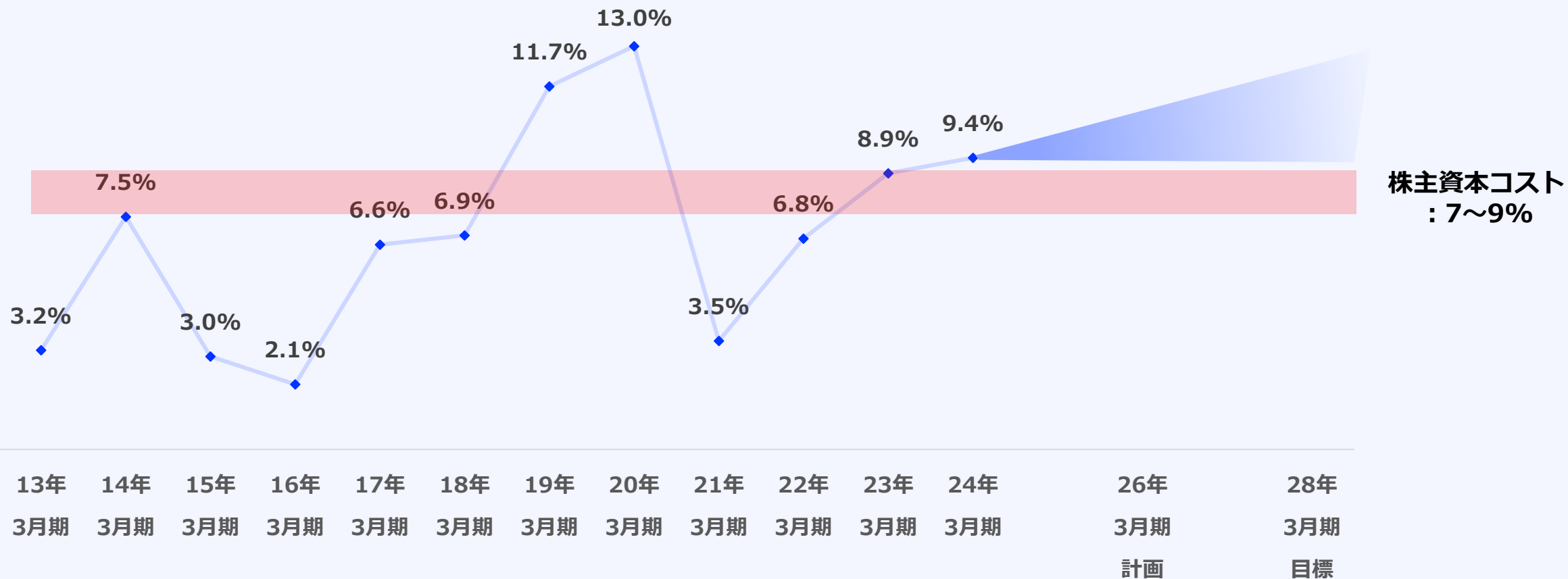
$$\begin{array}{ccccc} \boxed{\begin{array}{c} \text{リスク} \\ \text{フリーレート} \\ 0.5\% \text{程度} \end{array}} & + & \boxed{\begin{array}{c} \beta \\ 1.1 \sim 1.2 \end{array}} & \times & \boxed{\begin{array}{c} \text{市場リスク} \\ \text{プレミアム} \\ 6 \sim 7\% \end{array}} \\ & & & & \\ & = & \boxed{\begin{array}{c} \text{株主資本コスト} \\ \text{参考値} \\ 7 \sim 9\% \end{array}} \end{array}$$

- ✓ 客観的な資本コストの参考値の一つとしてCAPMを使用
- ✓ リスクフリーレートは国内の長期金利を使用
- ✓  $\beta$ 値については当社の2年週次 $\beta$ や同業種 $\beta^{(1)}$ を使用

ROEは改善傾向。引き続き収益性の向上とバランスシートの効率化を通し、株主資本コストを十分に上回るROEの実現を目指す

持続的に株主資本コストを上回るROE水準を目指す

目標ROEと株主資本コスト



当社の事業領域、特に中期経営計画で志向している領域はESGのそれぞれとも関係が深いと認識  
これまで以上に環境負荷や所属社会との連携、ガバナンス・資本効率の強化に向けて取り組む計画

## 環境 Environment

CO2排出量を筆頭とする  
環境負荷の低減への寄与

- ① 次世代エネルギー・次世代自動車の発展への寄与
- ② 新実験棟での太陽光発電の設置計画等、事業活動におけるCO2排出量の削減
- ③ 環境負荷の低い塗工・乾燥装置の研究・開発

## 社会 Social

地域社会との共生と  
持続可能な発展

- ① コロナ禍で一時中止していた就業体験の受入再開
- ② 事業活動を行っている地域における環境負荷に関する報告や行事取組

## ガバナンス Governance

社会の公器として求められる  
コーポレートガバナンスの実現

- ① 全てのステークホルダーに対して報いるための、資本効率を意識した経営の徹底
- ② 実効性の高い取締役会組成と経営の透明性・効率性の向上
- ③ 業績連動型報酬制度の導入





# Techno Smart

Changing Life with Coating Technology

## 免責事項

### 将来予測について

本資料で提供されている情報には、将来の見通しに関する情報が含まれています。これら歴史的事実以外の情報は、当社が属する業界の競争、市場、諸制度に係るリスクや不確実性による影響を受ける可能性があります。その結果、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定および推測に基づく見込みは、将来における実際の成果および業績とは異なる場合がありますことをご承知おきください。

## お問い合わせ先等

本資料の内容に関するお問い合わせにつきましては、下記までお願い申し上げます。

管理統括部 経営企画・IR推進部  
TEL 06-6253-7200（代表）